

前年度比0.6%ダウン

595億9,355万5,000円の活かし方

全議員でチェック

平成30年度当初予算

一般会計 397億8,000万円
 特別会計 198億1,355万5,000円



総括事項

問 鈴木市政となり、財政難から公共施設の統廃合などを行ってきたが、新たな人員削減を行わないのか。
答 今後厳しい財政状況が見込まれる中で人件費も見直しの対象と認識している。一方、国県から市町村への権限移譲により業務が多くなり、職員数を減らせない状況である。幼保の適正配置、民営化で職員定数を減らしていきたい。

一般会計歳入

問 景気回復により市税収入全体で2.2%増となったが、固定資産税収入0.9%減の原因と、たばこ税減少について。
答 土地については、課税標準額調整処置の継続実施と評価替え等により課税標準額が対前年比マイナス0.7%。家屋等については、新築家屋等から減失減少家屋分を相殺。評価替えに伴う補正により課税標準額を対前年比マイナス3.4%として積算した。たばこ税については、健康被害に対する規制強化が原因と思われる喫煙率の減少により積算した。

一般会計歳出

問 固定資産税の減収は評価替えの影響なのか。新增改築より古い家屋の取り壊し数が多いと積算したのか。
答 新增改築数が取り壊し数を上回っているが、単価の安い新増改築が増えており、取り壊しを上回る税収になっていない。
問 産業政策に力を入れているが法人税の伸びが少ない。法人税が増えないと、難しい事態にならないか。
答 企業としては、利益が出る税を納めるより投資をすることで安定的に地域の中で存続する事が重要。長期的に好循環が続けば、いずれ効果が出てくる。

総務費

ふるさと燕応援事業
 5億9,979万2,000円
問 ふるさと燕応援寄附金の活用方法について、寄附者にもつとわかりやすくする必要はあるのではないか。
答 寄附者の意向に沿った使途を議会に報告しているが、寄附者や市民にもつとわかりやすい財源の充当の仕方を考えていきたい。

民生費

障がい児通所支援費支給事業 放課後等デイサービス給付費
 9,625万3,000円
問 内容について。
答 主に就学児を対象で、生活能力向上の訓練等を支援するためのものである。

防犯カメラ設置補助事業

1,200万円
問 今年度15台分を予定しているが、防犯カメラ設置・普及をもっと進めてはどうか。
答 市内に61台設置してある。防犯上の抑止力はあるが、プライバシー保護の観点も重要である。自治会、防犯組合から同意の観点を理解いただいて設置している。



生活保護扶助費

5億9,511万2,000円
問 世帯数及びケースワーカーの人数と、何世帯を対応しているか。
答 本年1月末現在で278世帯、ケースワーカーは4名で、1人70世帯を対応している。

要保護児童対策事業

1,587万6,000円
問 家庭児童相談員の人数や相談体制を伺う。
答 保健師1名と嘱託相談員5名を配置し、関係機関と月1回の実務者会議を開き、連携して適切な支援に努めている。

衛生費

子ども医療費扶助費
 2億4,866万1,000円
問 1,000万円の減額となっているが、その理由について。
答 子どもの数の減少によるものである。

消防費

地域防災組織育成支援事業
 1,511万円
問 事業の中で、防災リーダー養成講座の取り組みを伺う。
答 養成講座には、半数の自治会や自主防災組織から延べ219名の参加があった。今年度は、新たに女性を対象に6回程度の講座を計画している。ぜひ地域に持ち帰り、防災意識を広めていただきたい。

商工費

つばめ東京オリンピックプロジェクト
 3,300万円
問 オリジナルカトラリー製作業務委託料について。
答 選手村など五輪の公式施設での採用や一般販売、ふるさと納税での利用を目指す。



開発が進むフィギュアスケートのブレード

次世代産業育成支援事業

8,111万3,000円
問 競技用具研究開発事業委託料、200万円の内容は。
答 燕市の金属加工の技術を生かして、フィギュアスケートのブレードを開発する。

女性雇用促進職場環境整備支援事業

500万円
問 補助率を2分の1から5分の1に、上限額を75万円から20万円に減額した理由について。
答 財政的に厳しく、他の事業を参考に見直しをした。

ものづくり基盤強化事業

1,056万3,000円
問 取り組み当初から見るとTISO認証の利用者は減少しているが、常に一定額の予算が計上されている理由は何か。
答 新規審査等の経費だけではなく、これまで認証されたものの更新費が発生している。

土木費

道路維持費
 2億9,911万1,000円
問 今冬の大雪後、道路修繕が必要な箇所が発生しているが、予算にはどのように盛り込まれているのか。
答 予算編成は今冬の大雪前であったため、年度内補正予算で対応する可能性がある。

教育費

部活動外部人材活用事業
 6,636万2,000円
問 内容や人数配置を伺う。
答 生徒の心身の成長や競技力向上と教員の負担軽減を図るため、技術指導や部活運営の指導ができる外部人材を各中学校の希望種目に1名ずつ派遣する。

三ツ星給食プロジェクト

22万5,000円
問 事業の内容について。
答 地元出身の料理研究家と協力し、10月頃の完成を目指し、学校給食の新メニューを開発する。地産地消にも取り組む。

燕シニア検定事業

1,433万3,000円
問 改訂版の問題集の完成時期はいつか。
答 新たな問題を7問加え、5,000冊程度を製本、6月中旬に印刷を終えたい。

学校図書館充実事業

1,334万2,000円
問 学校図書館管理システムの活用内容を伺う。
答 バーコードによって、読書傾向や誰が何冊借りているか、返却状況も把握できる。また、積極的に読書に取り組む児童生徒に「読書大賞」の表彰を行う。



粟生津小学校の図書館



昨年開催された防災リーダー養成講座